

科目名	英語 I B	科目責任者	浅山 龍一
課題と試験担当教員	浅山 龍一、狭間 敏行		
履修方法	S スクーリング学習		
ナンバリング	CGENG102		

■ 科目概要

『英語 I』の新教科書は、創立者がよくスピーチ、エッセー等で引用・紹介されるエマソンやソローを中心としたアメリカン・ルネサンスの作家たちとその代表作品を取り上げています。トルストイ、ガンディー、キングの平和思想、デューイのプラグマティズム（実用主義哲学）――すべて、人間性を変革しようとする運動――へと受け継がれる、その原点ともいえるべきアメリカ思想を原語（＝英語）で学びます。とくにエマソン作品はスピーチを聴いた聴衆が「天空の音楽（を聴いているよう）でした」*と感じた名作です。彼の話の進め方、語調を味わいましょう。正しい発音とアクセントで音読しながら、深遠な超絶主義（トランセンデンタリズム）の世界に浸りたいと思います。後継者ソローやホーソン、そしてオルコット作品もすべて名品です。作品を味わいながら、英文法の基礎を確認し、語彙やイディオムを増やしましょう。

「英語 I B」（＝スクーリング）では、教科書の中から、NATURE、SELF-RELIANCE、WALDEN、LITTLE WOMENの4作品を扱います。なお、授業時間数の関係で、NATUREは全担当教員が扱い解説しますが、残りについては受講学生と相談しながら選んで扱うこととなります。講義の最初に各教員が科目計画（授業の進め方）について話す予定です。下記の科目計画はその1例です。受講する皆さんは扱う作品の英文に目を通し、辞書で単語の意味を調べ、音読練習をし、さらに【注】をよく読んで授業に臨んでください。とくにNATUREは必ず講読しますので、スクーリングが始まる前に始めの10ページくらいは予習しておいてください。もちろん、DVDを使ったメディア授業も終わらせておいてください。スクーリングの第1回の授業において、メディア授業の第5回と第6回――教科書の253～256ページの練習問題の解説をしています――について小テストを行います。

*ロナルド・ボスコ / ジョエル・マイアソン / 池田大作『美しき生命 地球と生きる 哲人ソローとエマソンを語る』（毎日新聞社 2006年）p.214

■ 到達目標

英語が少し難しいエマソン作品、ソロー作品、比較的読み易いオルコット作品ですが、これらの名品を味わいながら、①辞書を引けるようになること②英文法の基礎を理解すること③語彙やイディオムを増やすことが目標です。そして、創立者も惹かれるアメリカン・ルネサンスの魅力をつかむことができれば幸いです。この授業を踏み台とし、practicalな英語の力を伸ばしたい方は「英会話」を、講読の力をさらに伸ばしたい方は「英語Ⅱ」を受講してください。

■ 科目の計画・内容

学習範囲 該当する章など	学習内容
巻末「学習指導書」	教科書を読むためにとくに必要とされる英文法を扱う。
巻末「学習指導書」の「練習問題」(PP.253-254)	問1. ～ 問14. についての解説と応用問題。

学習範囲 該当する章など	学習内容
巻末「学習指導書」の「練習問題」(pp.254-256)	問15. ～ 問25. についての解説と応用問題。
教科書の概要(1)	アメリカン・ルネサンスの前夜。ヨーロッパ中世とメイ・フラワー号。
教科書の概要(2)	エマソンの登場。先駆けとしてのロックとルソー。
教科書の概要(3)	ソローとルイザ・メイ・オルコット。エマソンを中心とした交友関係。
教科書の概要(4)	ホーソンとメルヴィル。エマソン思想の継承と展開。
小テストと解説	メディア授業で扱った英文法とアメリカン・ルネサンスについて知識が身についたかどうか(第5回と第6回の授業を中心に)を確認する小テストを行い、解説をする。
教科書の要点	アメリカン・ルネサンスについて再度解説する。
pp.1-5	時代(1830年代)の特徴と今求められているもの。 〈英語〉関係詞whichの使い方。
pp.6-11	自然(界)の美しさ。大人と子供の感覚の違い。照応思想。 〈英〉関係詞whoの使い方。shallの用法。分詞構文。
pp.12-17	人間の心の現れとしての自然。再び、照応思想。 〈英〉現在分詞の使い方。neither ～ nor--のこと。
pp.18-23	自然が醜く見える原因。自己信頼について。 〈英〉関係詞whatの使い方。動名詞。「現在(or過去)分詞+名詞」のこと。
pp.24-29	自立した魂をもった人間とは。 〈英〉形式主語itのこと。関係代名詞の省略のこと。so ～ as to- の意味。
pp.30-34	自然界の動植物が示す自立心。宇宙との一体、因果律の法則に気づくことの重要性。 〈英〉「名詞+現在分詞」接続詞whereのこと。
pp.35-37	至高の根源とは。 〈英〉for ～ to-の使い方。「of+抽象名詞」強調の助動詞do。
p.38	エマソンについてのディスカッション。
pp.39-44	遺産(家屋と土地)を相続した者の苦勞—思索の時間を失くし、自分を失う。 〈英〉(so) that ～ may--のこと。「the+形容詞」「名詞+過去分詞」
pp.45-50	年配者が賢明とは限らない。住居の役割。 〈英〉「(even) the+最上級」分詞構文。「how+形容詞+a+名詞」
pp.51-56	衣服について。見栄の愚かさ。 〈英〉used to- とbe used to～。仮定法のcouldとwould。関係詞asのこと。
pp.57-62	仕事の意味。子供の目。地に足をつけた生き方。 〈英〉「名詞+過去分詞」「(n)ever+過去形」
pp.63-68	自然—気候の変化、動植物たちが教えてくれること。孤独など感じない。 〈英〉「感情語+that...」結果の不定詞to
pp.69-74	宇宙(の法則)を動かす力について。私の中の野性。 〈英〉「場所を表す副詞+倒置」「no more ～than--」主語つき分詞構文。「目的語+～ing」
pp.75-80	善と野生の両方の魅力。私たちの中の野性と神性の力関係。 〈英〉「(代)名詞+alone」部分否定。関係詞の先行詞の位置。
pp.81-84	世界の広さ。人間の心の広さ。可能性の大きさ。 〈英〉「the+単数可算名詞」肯定文中のany。「a+固有名詞」
p.84	ソローについてのディスカッション。

■ディスカッション・ペアワーク

ディスカッション・ペアワークを行う場合があります。

■ DVDに関する内容理解の確認方法

面接授業1回目に小テストがあります。

小テストの他、授業内で教員がDVD内容を適宜、話題にして確認する。

■ 学習方法・評価

種別	評価基準
試験	授業で扱った文法を理解したか。構文や語彙を身につけたか。扱った思想（アメリカン・ルネサンス）を理解したか—について問う。

■ 評価方法

○スクーリング試験：100%

■ 教科書

書名：英語 I

著者名：浅山・藤本

出版社名：創大通信教育部

出版年：平25.3

版：初版

刷：

ISBN：978-4-86302-056-6

■ 参考書

ロナルド・ボスコ / ジョエル・マイアソン / 池田大作『美しき生命 地球と生きる 哲人ソローとエマソンを語る』（毎日新聞社 2006年）

エマソン『エマソン論文集（上）』（酒本雅之訳 岩波文庫 1973年）

ソロー『森の生活』（神吉三郎訳 岩波文庫 1979年）

■ 履修上のアドバイス

授業には英和辞典（高校レベルのもので、電子辞書でもよい）を持参してください。「英語 I A」は「英語 I B」（スクーリング）を受け、文法の基礎を確認し、語彙を増やし—何より英語に自信をつけたうえで挑戦してほしいと思います。そのためにもスクーリングにおいて、活発に意見を言ってもらい、質問もしていただきたいと思います。楽しい授業に行きましょう。

■ 自習時間

スクーリングの前に（10時限分の）DVD教材を活用して30時間の学習と、教科書の予習のために10時間の学習を行ってください。スクーリング中（30時間の授業があります）は1日5時間で計20時間の予習・復習を行ってください。

eスクーリングにおいても、DVDで30時間の学習をし、eスクーリング視聴で30時間、その予習・復習で30時間の学習をしてください。

■ 担当者のプロフィール

1952年徳島県生まれ。創価大学大学院文学研究科博士後期課程修了。文学修士。現在、創価大学文学部教授。文学部長。専門分野はアメリカ文学。主に、マーク・トウェインとアメリカン・ルネサンスについて研究。著書に『英語コンサルタント』（南雲堂）『英文和訳の征服』（双文社）『英語の名ガイド』（興学社）現代英語書き換えに『フランダースの犬』（英語教育協会）。その他、マーク・トウェインやアメリカン・ルネサンスに関する論文やエッセー。